

「少子化対策等に関する市民アンケート調査」

に関するアンケート結果報告書

令和6年9月18日(水)から10月18日(金)に実施した「少子化対策等に関する市民アンケート調査」に関するアンケート結果について報告します。

実施部所：未来政策部コミュニティ課

調査目的：未来に希望が持てる環境整備を更に進めていくために、若い世代、子育て世代の意識やニーズの把握を目的とする。

調査対象：市内に住所を有する18歳から39歳までの方

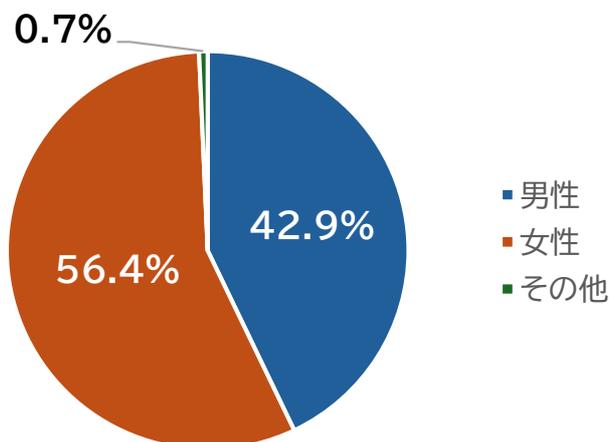
調査期間：令和6年9月18日(水)～10月18日(金)

調査方法：インターネット調査

調査結果の回答状況：回答数406件

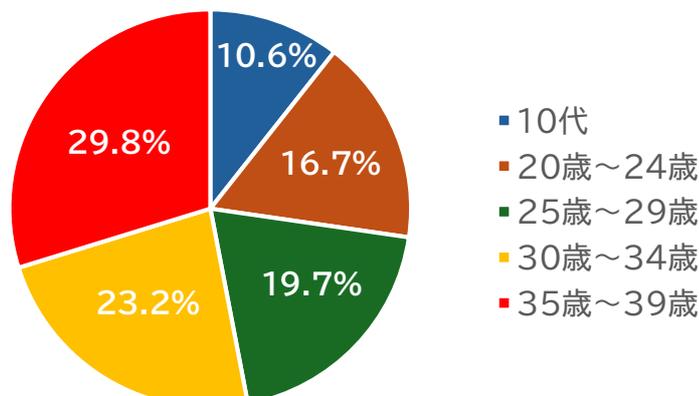
【1】あなたの性別について教えてください。

項目	件数	%
男性	174	42.9
女性	229	56.4
その他	3	0.7



【2】あなたの年齢(年代)について教えてください。

項目	件数	%
10代	43	10.6
20歳～24歳	68	16.7
25歳～29歳	80	19.7
30歳～34歳	94	23.2
35歳～39歳	121	29.8



【3】あなたは、現在結婚されていますか。

婚姻状況について、回答者のうち結婚している方は208名(51.2%)、結婚していない方は198名(48.8%)であった。

年齢別でみると、20歳～24歳のうち、結婚していない方がおよそ9割を占める一方、30歳～34歳の半数以上、35歳～39歳のおよそ8割が結婚している。

【全体】

■ はい ■ いいえ



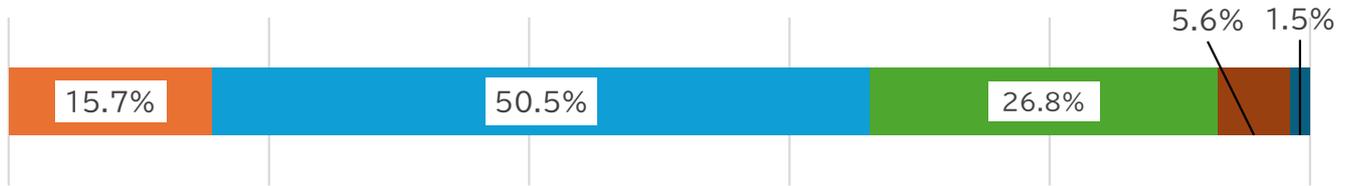
上段:度数 下段:%		合計	はい	いいえ
全体		406 100.0	208 51.2	198 48.8
年齢(年代)	10代	43 100.0	0 0.0	43 100.0
	20歳～24歳	68 100.0	5 7.4	63 92.7
	25歳～29歳	80 100.0	38 47.5	42 52.5
	30歳～34歳	94 100.0	63 67.0	31 33.0
	35歳～39歳	121 100.0	102 84.3	19 15.7

【4】あなたの結婚に対する考えに最も近いものはどれですか。

【回答者】【3】で「いいえ」と回答した方（198名）

回答者のうち、「できるだけ早く結婚したい」と回答した方が31名(15.7%)、「いずれ結婚したい」と回答した方が100名(50.5%)となっている一方、「一生結婚するつもりはない」と回答した方は11名(5.6%)であった。

■できるだけ早く結婚したい ■いずれ結婚したい ■今は考えていない ■一生結婚するつもりはない ■その他



		合計	できるだけ早く結婚したい	いずれ結婚したい	今は考えていない	一生結婚するつもりはない	その他
上段:度数 下段:%							
全体		198 100.0	31 15.7	100 50.5	53 26.8	11 5.6	3 1.5
年齢(年代)	10代	43 100.0	6 14.0	20 46.5	15 34.9	1 2.3	1 2.3
	20~24歳	63 100.0	7 11.1	38 60.3	14 22.2	4 6.3	0 0.0
	25~29歳	42 100.0	7 16.7	23 54.8	9 21.4	2 4.8	1 2.4
	30~34歳	31 100.0	6 19.4	11 35.5	11 35.5	3 9.7	0 0.0
	35~39歳	19 100.0	5 26.3	8 42.1	4 21.1	1 5.3	1 5.3

【6】あなたが、現在結婚していない理由は何ですか。

【回答者】【4】で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方(187名)

現在結婚していない理由について、「適当な相手にめぐりあわないから」と回答した方が72名(38.5%)で一番多い。

また、「結婚資金が足りないから」、「まだ若すぎるから」、「自由や気楽さを失いたくないから」という意見が多くみられた。

適当な相手にめぐりあわないから	38.5%
自由や気楽さを失いたくないから	21.4%
結婚資金が足りないから	26.2%
必要性を感じないから	12.8%
趣味や娯楽を優先したいから	17.1%
異性とうまく付き合えないから	11.8%
仕事に打ち込みたいから	2.7%
仕事が忙しすぎるから	13.9%
まだ若すぎるから	24.6%
住宅のめどが立たないから	5.3%
親や周囲が同意しない	2.7%
その他	11.8%

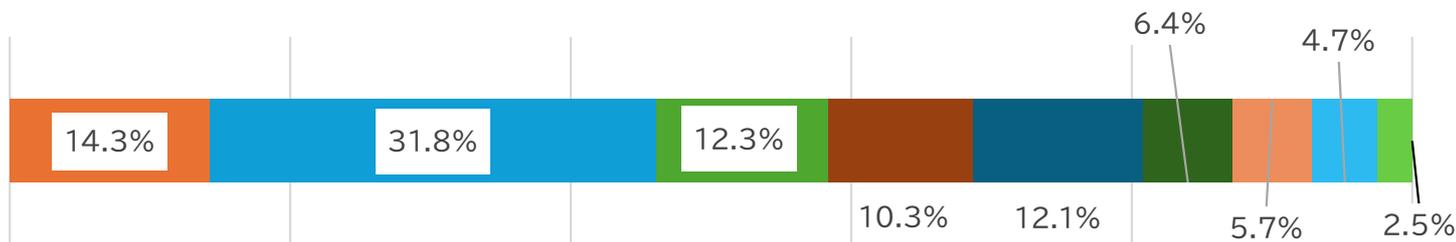
		合計	適当な相手にめぐりあわないから	自由や気楽さを失いたくないから	結婚資金が足りないから	必要性を感じないから	趣味や娯楽を優先したいから	異性とうまく付き合えないから	仕事に打ち込みたいから	仕事が忙しすぎるから	まだ若すぎるから	住宅のめどが立たないから	親や周囲が同意しない	その他
上段:度数	下段:%													
全体		187 100.0	72 38.5	40 21.4	49 26.2	24 12.8	32 17.1	22 11.8	5 2.7	26 13.9	46 24.6	10 5.3	5 2.7	22 11.8
年齢(年代)	10代	42 100.0	7 16.7	11 26.2	5 11.9	5 11.9	10 23.8	7 16.7	0 0.0	1 2.4	27 64.3	1 2.4	1 2.4	3 7.1
	20~24歳	59 100.0	29 49.2	10 16.9	20 33.9	6 10.2	12 20.3	6 10.2	1 1.7	11 18.6	19 32.2	2 3.4	1 1.7	4 6.8
	25~29歳	40 100.0	18 45.0	6 15.0	13 32.5	5 12.5	6 15.0	6 15.0	2 5.0	6 15.0	0 0.0	6 15.0	1 2.5	7 17.5
	30~34歳	28 100.0	10 35.7	8 28.6	8 28.6	5 17.9	3 10.7	2 7.1	2 7.1	7 25.0	0 0.0	1 3.6	1 3.6	6 21.4
	35~39歳	18 100.0	8 44.4	5 27.8	3 16.7	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6	2 11.1

【7】あなたが、結婚を希望する人への支援として、特に重要だと考えるものは何ですか。

回答者のうち、129名(31.8%)が「子育て支援策の拡充」と回答しており、年齢別でも、各年齢で最も多い意見となっている。次いで「出会いの機会・場の提供」「夫婦ともに働き続けられる職場環境の充実」との回答が多かった。

その他の意見として、「結婚・出生時に期間を設けて所得税・住民税等を減税する」「給与 面の充実」といったものがあった。

- 出会いの機会・場の提供
- 子育て支援策の拡充
- 夫婦ともに働き続けられる職場環境の充実
- 安定した雇用環境の提供
- 結婚資金や住居に関する支援
- 男性の家事・育児への参画を進める
- 仕事と生活の両立を実現するための啓発
- 特に必要ない
- その他



		合計	出会いの機会・場の提供	子育て支援策の拡充	夫婦ともに働き続けられる職場環境の充実	安定した雇用環境の提供	結婚資金や住居に関する支援	男性の家事・育児への参画を進める	仕事と生活の両立を実現するための啓発	特に必要ない	その他
上段:度数 下段:%											
全体		406 100.0	58 14.3	129 31.8	50 12.3	42 10.3	49 12.1	26 6.4	23 5.7	19 4.7	10 2.5
年齢(年代)	10代	43 100.0	4 9.3	12 27.9	7 16.3	8 18.6	6 14.0	3 7.0	2 4.7	1 2.3	0 0.0
	20~24歳	68 100.0	7 10.3	15 22.1	10 14.7	11 16.2	11 16.2	4 5.9	5 7.4	4 5.9	1 1.5
	25~29歳	80 100.0	7 8.8	35 43.8	9 11.3	2 2.5	12 15.0	3 3.8	4 5.0	7 8.8	1 1.3
	30~34歳	94 100.0	10 10.6	33 35.1	12 12.8	7 7.4	11 11.7	7 7.4	5 5.3	2 2.1	7 7.4
	35~39歳	121 100.0	30 24.8	34 28.1	12 9.9	14 11.6	9 7.4	9 7.4	7 5.8	5 4.1	1 0.8

【8】あなたは、「出会いの機会・場の提供」として、どのようなものがあれば活用してみたいですか。(抜粋)

- ・共通の趣味を通じたイベント
- ・街コン、趣味の合う人同士が集う婚活パーティーなど
- ・他大学、異業種間での出会いの場
- ・マッチングアプリ
- ・大型商業施設等の若者が遊べる場所
- ・一緒にスポーツやレクリエーションを楽しんだり、BBQをしたり、何か活動しながら交流できる場
- ・婚活アドバイザーの講演
- ・飲食店等と連携して、独身者限定の無料バイキングプレゼントキャンペーンなど
- ・街コン、相席居酒屋、市運営のマッチングアプリなど
- ・スポーツ大会等のイベント
- ・スポーツ観戦イベント
- ・eスポーツやサブカルチャーなどテーマごとのイベント
- ・男女問わず趣味で集まる場(テーマが婚活だと恥ずかしい)
- ・ゲーム大会のような、ゲームを楽しみながら知り合いもできる機会があれば活用してみたい。
- ・趣味などに特化した街コン(アニメ、スポーツ、映画)

【9】あなたのもちたい子どもの人数は何人ですか。

もちたい子どもの数についての調査では、全体の47.8%が「2人」と回答している。次いで「3人以上」が39.7%であった。
「子どもは欲しくない」と回答した方は10代で9.3%であった。

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人以上 ■ 子どもは欲しくない



		合計	1人	2人	3人以上	子どもは欲しくない
上段:度数 下段:%						
全体		406 100.0	26 6.4	194 47.8	161 39.7	25 6.2
年齢(年代)	10代	43 100.0	4 9.3	25 58.1	10 23.3	4 9.3
	20~24歳	68 100.0	2 2.9	44 64.7	16 23.5	6 8.8
	25~29歳	80 100.0	4 5.0	41 51.3	29 36.3	6 7.5
	30~34歳	94 100.0	7 7.4	39 41.5	42 44.7	6 6.4
	35~39歳	121 100.0	9 7.4	45 37.2	64 52.9	3 2.5

【10】あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。

実際の子どもの数を調査では、全体の20.2%が「2人」と回答している。

お子さんがいらっしゃる割合の高い35歳以上の回答を見ると、38.8%が「2人」、33.9%が「3人以上」と回答している。

■1人 ■2人 ■3人以上 ■いない



		合計	1人	2人	3人以上	いない
上段:度数 下段:%						
全体		406 100.0	62 15.3	82 20.2	63 15.5	199 49.0
年齢(年代)	10代	43 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	43 100.0
	20~24歳	68 100.0	2 2.9	2 2.9	0 0.0	64 94.1
	25~29歳	80 100.0	22 27.5	7 8.8	6 7.5	45 56.3
	30~34歳	94 100.0	22 23.4	26 27.7	16 17.0	30 31.9
	35~39歳	121 100.0	16 13.2	47 38.8	41 33.9	17 14.0

【11】理想の子ども的人数より少ない理由、子どもが欲しくない理由はどのようなことですか。

【回答者】理想の子ども的人数より現実の人数が少ない方、【9】で「子どもは欲しくない」を回答した方

回答者のうち、「経済的な負担が大きい」と回答した方が一番多く21.3%であった。次いで、「相手がいないため」が15.6%、「仕事と子育ての両立が難しいため」が14.8%となっている。

仕事と子育ての両立が難しいため	14.8%
経済的な負担が大きい	21.3%
肉体的・精神的な負担が大きい	8.7%
自分や夫婦の仕事に支障が出るため	4.2%
自分や夫婦の生活を楽しまないため	1.9%
年齢的な理由	4.9%
自分や配偶者の雇用が不安定であるため	1.5%
地域の保育サービスが十分でないため	1.9%
地域の教育環境が十分でないため	0.8%
配偶者やパートナーが望まないから	1.1%
相手がいないため	15.6%
将来的に欲しいと思っている	13.3%
特に理由はない	6.8%
その他	3.0%

		合計	仕事と子育ての両立が難しいため	経済的な負担が大きい	肉体的・精神的な負担が大きい	自分や夫婦の仕事に支障が出るため	自分や夫婦の生活を楽しまないため	年齢的な理由	自分や配偶者の雇用が不安定であるため	地域の保育サービスが十分でないため	地域の教育環境が十分でないため	配偶者やパートナーが望まないため	相手がいないため	将来的に欲しいとおもっている	特に理由はない	その他
上段:度数 下段:%																
全体		263 100.0	39 14.8	56 21.3	23 8.7	11 4.2	5 1.9	13 4.9	4 1.5	5 1.9	2 0.8	3 1.1	41 15.6	35 13.3	18 6.8	8 3.0
年齢(年代)	10代	34 100.0	4 11.8	6 17.6	1 2.9	1 2.9	1 2.9	4 11.8	1 2.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0	5 14.7	3 8.8	5 14.7	1 2.9
	20~24歳	78 100.0	11 14.1	18 23.1	5 6.4	0 0.0	0 0.0	3 3.8	1 1.3	1 1.3	1 1.3	0 0.0	16 20.5	16 20.5	3 3.8	3 3.8
	25~29歳	63 100.0	11 17.5	14 22.2	7 11.1	5 7.9	1 1.6	0 0.0	1 1.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	9 14.3	8 12.7	6 9.5	0 0.0
	30~34歳	55 100.0	8 14.5	13 23.6	5 9.1	4 7.3	3 5.5	1 1.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.8	7 12.7	6 10.9	4 7.3	2 3.6
	35~39歳	33 100.0	5 15.2	5 15.2	5 15.2	1 3.0	0 0.0	5 15.2	0 0.0	0 0.0	2 6.1	0 0.0	2 6.1	4 12.1	2 6.1	0 0.0

【12】子育てする上での悩みや不安はどのようなことですか。

【回答者】【10】で「いない」以外を回答した方

子育てに対する悩みや不安については、「経済的な負担が大きいこと」が全体の77.3%を占め、「精神的な負担が大きいこと」「肉体的な負担が大きいこと」がともに27.5%で続いている。

その他の意見として、「雨の日に遊べる場所が少ない」「日祝日預けられるところがない」「子育てと仕事の両立」といったものがあった。

経済的な負担が大きいこと	77.3%
精神的な負担が大きいこと	27.5%
肉体的な負担が大きいこと	27.5%
自分や夫婦の自由な時間が持てないこと	22.2%
社会的な孤立感や孤独感があること	4.8%
子育てに自信が持てないこと	2.4%
気軽に相談できる相手がいないこと	3.9%
子どもと接する時間が十分に持てないこと	20.3%
配偶者やパートナーの協力が少ないこと	3.4%
配偶者やパートナーと意見が合わないこと	1.4%
配偶者やパートナー以外に手伝ってくれる人がいないこと	8.7%
大変さを周りが理解してくれないこと	3.9%
特に悩みや不安はない	9.2%
その他	2.9%

		合計	経済的な負担が大きいこと	精神的な負担が大きいこと	肉体的な負担が大きいこと	自分や夫婦の自由な時間が持てないこと	社会的な孤立感や孤独感があること	子育てに自信が持てないこと	気軽に相談できる相手がいないこと	子どもと接する時間が十分に持てないこと	配偶者やパートナーの協力が少ないこと	配偶者やパートナーと意見が合わないこと	配偶者やパートナー以外に手伝ってくれる人がいないこと	大変さを周りが理解してくれないこと	特に悩みや不安はない	その他
上段:度数	下段:%															
全体		207 100.0	160 77.3	57 27.5	57 27.5	46 22.2	10 4.8	5 2.4	8 3.9	42 20.3	7 3.4	3 1.4	18 8.7	8 3.9	19 9.2	6 2.9
年齢(年代)	10代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20~24歳	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25~29歳	35 100.0	29 82.9	9 25.7	13 37.1	9 25.7	4 11.4	1 2.9	2 5.7	3 8.6	0 0.0	2 5.7	2 5.7	2 5.7	1 2.9	1 2.9
	30~34歳	64 100.0	56 87.5	13 20.3	15 23.4	13 20.3	4 6.3	2 3.1	3 4.7	15 23.4	5 7.8	0 0.0	5 7.8	1 1.6	5 7.8	3 4.7
	35~39歳	104 100.0	72 69.2	35 33.7	29 27.9	24 23.1	2 1.9	2 1.9	3 2.9	23 22.1	5 4.8	1 1.0	10 9.6	5 4.8	13 12.5	2 1.9

【13】若い世代が、結婚や子育ての希望が叶い住み続けたいと思える薩摩川内市となるにはどのような取組が必要だと思いますか。(抜粋)

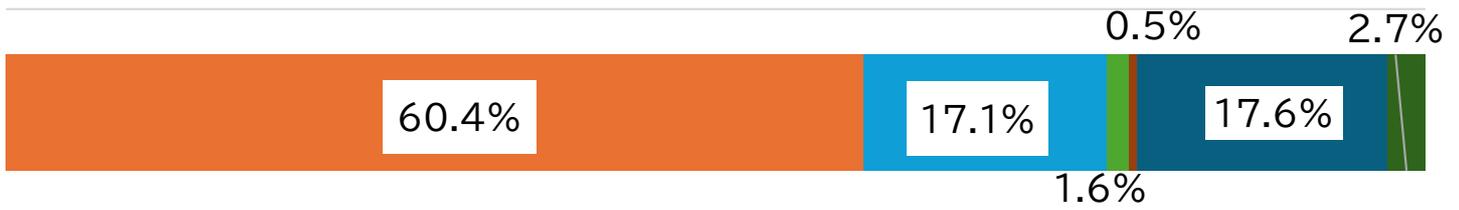
- ・子どもたちが遊べる公園や娯楽施設の充実、ショッピングモールの建設
- ・遊び場の増加、室内遊びができるような施設
- ・広場や公園の充実、商業施設の充実
- ・日々の暮らしに必要なインフラ施設の充実
- ・公園や遊具など小さい子供が遊べる施設の充実
- ・若い世代が楽しめる場の創出
- ・子育て支援の場の提供
- ・子どもに関するイベントや施設が増えるとよい
- ・飲食店や小売店の充実
- ・親子で楽しめる娯楽施設
- ・若者や子どもが集える大規模商業施設
- ・子育て世帯への経済的支援
- ・出産一時金と子ども手当の増額
- ・子育てにかかる給付を増やす、もしくは現状の支援策の拡充
- ・子どもの医療費無償化(窓口負担)
- ・希望する保育園への入園、学童の年齢制限撤廃
- ・祝日や夜間に子どもを預けられる場所
- ・保育料の完全無償化(延長保育含む)
- ・保育園や預り所の拡充
- ・子育てのしやすい環境づくり
- ・子育て支援の拡充
- ・学童利用への補助
- ・オムツ、粉ミルク無償化
- ・企業誘致での安定した雇用の確保
- ・雇用と収入の安定、賃金の大幅な上昇
- ・雇用環境の整備
- ・子どもの成長の状況や子育ての悩みを気軽に相談できる体制
- ・スポーツや音楽、伝統などエンターテイメント豊かな街
- ・現在行っている取組の周知
- ・高齢者への支援(子育てには親の介護の悩みもある)
- ・夫婦共同で育児に専念できる制度
- ・シャッター通りの活用、所得の底上げ、子育て支援制度の充実
- ・不妊治療に対する手厚い支援
- ・公共交通機関の整備
- ・空き家を活用して家賃補助や子どもの教育費の補助を行う

【14】あなたは、結婚した後または子どもができた後、 どのような働き方を望みますか。

【回答者】【4】で「一生結婚するつもりはない」以外を回答した方

結婚または出産後、夫婦ともに働き続けたいと考える方は、全体の60.4%であった。

- 夫婦ともに働き続ける
- 夫婦どちらか一方がいったん退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職
- 出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める
- 結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める
- わからない



		合計	夫婦ともに働き続ける	夫婦どちらか一方がいったん退職し、子どもがある程度の年齢に達したら復職	出産を機に夫婦どちらか一方が仕事を辞める	結婚したら夫婦どちらか一方が仕事を辞める	わからない	その他
上段:度数 下段:%								
全体		187 100.0	113 60.4	32 17.1	3 1.6	1 0.5	33 17.6	5 2.7
年齢(年代)	10代	42 100.0	21 50.0	9 21.4	1 2.4	1 2.4	10 23.8	0 0.0
	20~24歳	59 100.0	44 74.6	6 10.2	1 1.7	0 0.0	6 10.2	2 3.4
	25~29歳	40 100.0	21 52.5	9 22.5	1 2.5	0 0.0	8 20.0	1 2.5
	30~34歳	28 100.0	17 60.7	4 14.3	0 0.0	0 0.0	6 21.4	1 3.6
	35~39歳	18 100.0	10 55.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	3 16.7	1 5.6

【15】仕事と生活の両立のために、事業所等に望む環境整備は何ですか。

結婚または出産後、夫婦共に働きたいと考える方は、全体の60.4%であった。その他の意見では、「給与アップ」「労働時間短縮」「強制的な休暇取得制度と労働時間そのままに週4勤務体制の構築」「事業者が男性へ育児休業を取得させるメリットを拡充すべき」などの意見があった。

各種制度の充実・拡充	31.8%
子育てに対する理解促進	25.6%
ハラスメント防止対策の徹底	3.4%
性別役割分担意識の解消	3.2%
世代間ギャップの解消	3.0%
休暇を取得しやすい風土づくり	27.1%
特になし	3.2%
その他	2.7%

		合計	各種制度の充実・拡充	子育てに対する理解促進	ハラスメント防止対策の徹底	性別役割分担意識の解消	世代間ギャップの解消	休暇を取得しやすい風土づくり	特になし	その他
上段:度数 下段:%										
全体		406 100.0	129 31.8	104 25.6	14 3.4	13 3.2	12 3.0	110 27.1	13 3.2	11 2.7
年齢(年代)	10代	43 100.0	9 20.9	12 27.9	4 9.3	1 2.3	3 7.0	11 25.6	3 7.0	0 0.0
	20~24歳	68 100.0	22 32.4	11 16.2	3 4.4	4 5.9	1 1.5	25 36.8	2 2.9	0 0.0
	25~29歳	80 100.0	31 38.9	21 26.3	0 0.0	1 1.3	3 3.8	20 25.0	3 3.8	1 1.3
	30~34歳	94 100.0	29 30.9	29 30.9	2 2.1	4 4.3	1 1.1	22 23.4	1 1.1	6 6.4
	35~39歳	121 100.0	38 31.4	31 25.6	5 4.1	3 2.5	4 3.3	32 26.4	4 3.3	4 3.3

【16】仕事と生活の両立のために、行政にどのようなことを期待しますか。

回答者のうち、「保育所、学童保育、介護施設などの充実」と回答した方は、全体の57.6%であった。また、年齢別でも半数を占めている。

その他の回答では、「酷暑でも子どもが遊べる場所の設置」「子供向けの給付」「保育士の処遇改善」「保育料が高すぎる」「金銭面での援助」「PTA廃止」等の意見があった。

保育所、学童保育、介護施設などの充実	57.6%
市内事業所の取組事例の紹介、関連情報、ノウハウの提供	5.7%
ワークライフバランスを推進するための制度や活用方法に関する情報提供	23.2%
市民を対象とした理解促進・啓発	2.2%
事業所向け講習会の開催	5.4%
相談体制の整備	1.0%
その他	4.9%

		合計	保育所、学童保育、介護施設などの充実	市内事業所の取組事例の紹介、関連情報、ノウハウの提供	ワークライフバランスを推進するための制度や活用方法に関する情報提供	市民を対象とした理解促進・啓発	事業所向けの講習会の開催	相談体制の整備	その他
		上段:度数 下段:%							
全体		406 100.0	234 57.6	23 5.7	94 23.2	9 2.2	22 5.4	4 1.0	20 4.9
年齢(年代)	10代	43 100.0	25 58.1	3 7.0	12 27.9	1 2.3	1 2.3	1 2.3	0 0.0
	20~24歳	68 100.0	42 61.8	5 7.4	15 22.1	1 1.5	3 4.4	1 1.5	1 1.5
	25~29歳	80 100.0	48 60.0	4 5.0	18 22.5	2 2.5	7 8.8	1 1.3	0 0.0
	30~34歳	94 100.0	54 57.4	4 4.3	20 21.3	4 4.3	1 1.1	0 0.0	11 11.7
	35~39歳	121 100.0	65 53.7	7 5.8	29 24.0	1 0.8	10 8.3	1 0.8	8 6.6